

準優勝校：京都共栄学園高等学校 平成20年3月14日視察

チーム員 釣本麻紀子（2年）

東京コレクション視察感想

ファッションショーに行ったのは初めてだったので、とても緊張した。自分はファッションにあまり詳しく無いけど、服はすごくきれいだっし、モデルの方や演出もすごくかっこ良かった。東京コレクションなんて滅多にみることはできないし、本当に良い経験になった。

第7回大会を振り返って

制作中はすごく大変だった。本番では、全国の高校生とふれあうことができとても楽しかった。審査員の方々から沢山のことを学べたし、それぞれの作品から沢山の刺激を受けた。ファッションショー形式で自分たちの作品を発表する機会はなかなか無いので、とても良い経験になったと思う。

チーム員 初田有似（3年）

東京コレクション視察感想

目はかなり遠くを見ているような気がするし、足は法則の比喻だと感じた。ペレの頭の中で針を泳がせることに成功した人をととても偉いと思う。

第7回大会を振り返って

ステージに上がりスポットライトをあびたとき、ふと脳裏をよぎった。もしここがステージではなくて車道ならば僕は確実に轢かれていただろうと。

チーム員 谷口千佳（2年） 都合により東京コレクション視察を辞退

第7回大会を振り返って

とても充実した夏休みだった。ほぼ毎日のように学校へ通い、私たちのイメージした「服」が着々と出来上がっていくのが嬉しくて、いつもワクワクしながら作業をしていた。時間との戦いで焦ってうまく制作が進まなかった時もあったが、あの服が完成したときの喜びと、ファッション甲子園での感動は今でも鮮明に思い出すことができる。仲間と一緒に作り、1つのものを完成させるということが私には大きな力になった。私はこの貴重な経験を次へのステップへ生かしていきたいと思っている。